



Sun™ Management Center 3.6 Sun Fire™、Sun Blade™ および Netra™ システムのための 追補マニュアル

Sun Microsystems, Inc.
www.sun.com

Part No. 819-4861-10
2005 年 11 月, Revision A

コメントの送付: <http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

Copyright 2005 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) は、本書に記述されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents> に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付属する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun、Sun Microsystems、Java、docs.sun.com、Sun Management Center、Sun Fire、Sun Blade、Sun Store、Netra および Open Boot は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標、登録商標もしくは、サービスマークです。サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun™ Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

U.S. Government Rights—Commercial use. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本書には、技術的な誤りまたは誤植のある可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社による事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典:	<i>Sun Management Center 3.6 Supplement for the Sun Fire, Sun Blade, and Netra Systems</i> Part No: 819-1153-10 Revision A
-----	--



目次

はじめに xi

1. 概要 1

Sun Management Center 1

サポート対象のプラットフォーム 2

プラットフォームのアイコン 2

ハードウェアプラットフォームモジュール 4

 ブラウザ表示 4

 物理コンポーネント 5

 デバイス情報 6

 環境センサ 6

 論理表示 6

 物理表示 7

アラーム 9

2. インストール 11

Sun Management Center ソフトウェア 11

ソフトウェアの入手 12

ソフトウェアのインストールと構成 13

 ▼ インストールの準備 13

GUI 設定の使用	14
▼ ソフトウェアをインストールする	14
既存のアドオンソフトウェアの削除	15
▼ 既存の 3.6 アドオンソフトウェアをサーバーから削除する	16
▼ 既存の 3.6 アドオンソフトウェアをエージェントから削除する	17
エージェント更新イメージの作成とインストール	19
▼ アドオンソフトウェアを含んだエージェント更新イメージを作成する	19
3. 物理プロパティと論理プロパティ	21
システムのプロパティ	22
物理コンポーネントのプロパティ	23
共通プロパティ	23
ファン	25
電源装置	26
拡張カード	27
メモリモジュール	28
その他の物理コンポーネント	29
場所	29
論理デバイスのプロパティ	30
「可用性」プロパティの値	31
「冗長性ステータス」プロパティの値	31
プロセッサ	32
メディアデバイス	32
ネットワークインタフェース	33
インジケータ	34
その他のデバイス	35
環境センサのプロパティ	35
数値センサ	36

非数値センサ 37

4. アラーム 39

アラーム規則 39

動作状態の規則 40

エラークラスとデフォルトのアラームレベル 40

処理 41

可用性の規則 42

エラークラスとデフォルトのアラームレベル 42

処理 43

非数値センサの規則 43

エラークラスとデフォルトのアラームレベル 44

処理 44

数値センサのしきい値の規則 44

エラークラスとデフォルトのアラームレベル 45

処理 46

占有状態の規則 46

エラークラスとデフォルトのアラームレベル 46

処理 47

率またはカウントの規則 47

エラーカウント、エラー率、およびデフォルトのアラームレベル 48

処理 48

モジュールのステータスの規則 49

エラークラスとデフォルトのアラームレベル 49

処理 50

インジケータ状態の規則 50

エラークラスとデフォルトのアラームレベル 50

処理 51

A.	PCI カード	53
B.	プラットフォーム固有の情報	55
	Sun Fire V210、Sun Fire V240、および Netra 240 サーバー	56
	Netra 440 サーバー	56
	Sun Fire V250 サーバー	57
	Sun Fire V440 サーバー	57
	Sun Blade 1500 および Sun Blade 2500 ワークステーション	58
	Sun Fire T2000 システム	58
	索引	61

図目次

- 図 1-1 サポート対象のプラットフォームのアイコンを表示するドメイン表示 3
- 図 1-2 物理コンポーネント、デバイス情報および環境センサが表示された Sun Fire V250 のブラウザ表示 5
- 図 1-3 Sun Fire V250 論理表示のセクション 7
- 図 1-4 Sun Fire V250 物理表示 - 正面 8
- 図 1-5 Sun Fire V250 物理表示 - 背面 9
- 図 2-1 インストール処理の流れ 15
- 図 3-1 物理コンポーネントの「場所」と「説明」の列 (Sun Fire V250 の場合) 24
- 図 3-2 インジケータを示す論理デバイステーブルの一部 (Sun Fire V250 の場合) 30
- 図 3-3 数値電圧センサテーブルと電圧しきい値センサテーブル (Sun Fire V250 の場合) 36

表目次

表 2-1	必要なソフトウェアバージョン	12
表 3-1	システム情報テーブルのプロパティ	22
表 3-2	動作状態の値	25
表 3-3	ファンテーブルのプロパティ	26
表 3-4	電源装置テーブルのプロパティ	26
表 3-5	拡張カードテーブルのプロパティ	27
表 3-6	メモリモジュールテーブルのプロパティ	28
表 3-7	その他の物理コンポーネントテーブルのプロパティ	29
表 3-8	場所テーブルのプロパティ	29
表 3-9	プロセッサテーブルのプロパティ	32
表 3-10	メディアデバイステーブルのプロパティ	33
表 3-11	ネットワークインタフェーステーブルのプロパティ	33
表 3-12	インジケータテーブルのプロパティ	34
表 3-13	その他のデバイステーブルのプロパティ	35
表 3-14	数値センサテーブルのプロパティ	36
表 3-15	非数値センサテーブルのプロパティ	37
表 4-1	動作状態の規則	40
表 4-2	動作状態の値、エラークラス、およびデフォルトのアラームレベル	41
表 4-3	動作状態の規則のエラークラスのデフォルトアラームレベル	41
表 4-4	可用性の規則	42

表 4-5	可用性の値、エラークラス、およびデフォルトのアラームレベル	42
表 4-6	可用性規則のエラークラスのデフォルトアラームレベル	43
表 4-7	非数値センサの規則	43
表 4-8	現在の値のプロパティ値、エラークラス、およびデフォルトのアラームレベル	44
表 4-9	数値センサのしきい値の規則	45
表 4-10	現在の値のプロパティ値、エラークラス、およびデフォルトのアラームレベル	45
表 4-11	数値センサのしきい値規則のエラークラスのデフォルトアラームレベル	46
表 4-12	率またはカウントの規則	46
表 4-13	占有状態のプロパティ値、エラークラス、およびデフォルトのアラームレベル	47
表 4-14	率またはカウントの規則	47
表 4-15	率またはカウントの規則パラメータ	48
表 4-16	モジュールのステータスの規則	49
表 4-17	モジュールのステータスの値、エラークラス、およびデフォルトのアラームレベル	49
表 4-18	モジュールのステータス規則のエラークラスのデフォルトアラームレベル	50
表 4-19	インジケータ状態の規則	50
表 4-20	インジケータ状態のプロパティ値、エラークラス、およびデフォルトのアラームレベル	51
表 A-1	サポートされる PCI カード	53
表 B-1	共通ハードウェアプラットフォームモジュールパッケージ	55
表 B-2	Sun Fire V210、V240、および Netra 240 のプラットフォーム固有のパッケージ	56
表 B-3	Netra 440 のプラットフォーム固有のパッケージ	57
表 B-4	Sun Fire V250 サーバーのプラットフォーム固有のパッケージ	57
表 B-5	Sun Fire V440 サーバーのプラットフォーム固有のパッケージ	58
表 B-6	Sun Blade 1500 および 2500 のプラットフォーム固有のパッケージ	58
表 B-7	Sun Fire T2000 システムのプラットフォーム固有のパッケージ	59
表 B-8	PCPdaq のパッケージ	59

はじめに

『Sun™ Management Center 3.6 Sun Fire™、Sun Blade™ および Netra™ システムのための追補マニュアル』では、サポート対象のプラットフォームに Sun Management Center ソフトウェアをインストールして構成し、使用方法について説明します。このマニュアルは、Sun Management Center 3.6 ソフトウェアをインストールして、これらのサーバーおよびワークステーションの監視や管理に使用するシステム管理者を対象としています。

マニュアルの構成

第 1 章では、サポート対象のプラットフォーム用の Sun Management Center ソフトウェアについて説明します。

第 2 章では、サポート対象のプラットフォームに Sun Management Center ソフトウェアをインストールして設定する一般的な方法について説明します。この章と併せて『Sun Management Center インストールと構成ガイド』を参照してください。

第 3 章では、「詳細」ウィンドウに表示されるデータについて説明します。

第 4 章では、サポート対象のプラットフォームのコンポーネントで使用するアラーム規則について説明します。

付録 A では、この製品での PCI カードのサポートレベルについて説明します。

付録 B では、プラットフォーム固有のパッケージとマニュアルに関する情報を示します。

UNIX コマンド

このマニュアルには、システムの停止、システムの起動、およびデバイスの構成などに使用する基本的な UNIX® コマンドと操作手順に関する説明は含まれていない可能性があります。これらについては、以下を参照してください。

- 使用しているシステムに付属のソフトウェアマニュアル
- 下記にある Solaris™ オペレーティングシステムのマニュアル

<http://docs.sun.com>

シェルプロンプトについて

シェル	プロンプト
UNIX の C シェル	<i>machine_name%</i>
UNIX の Bourne シェルと Korn シェル	\$
スーパーユーザー (シェルの種類を問わない)	#

書体と記号について

書体または記号*	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、コード例。	.login ファイルを編集します。 ls -a を実行します。 % You have mail.
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して表します。	% su Password:
<i>AaBbCc123</i>	コマンド行の変数部分。実際の名前や値と置き換えてください。	rm <i>filename</i> と入力します。
『』	参照する書名を示します。	『Solaris ユーザーマニュアル』
「」	参照する章、節、または、強調する語を示します。	第 6 章「データの管理」を参照。 この操作ができるのは「スーパーユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅を超える場合に、継続を示します。	% grep `^#define` \ XV_VERSION_STRING '

* 使用しているブラウザにより、これらの設定と異なって表示される場合があります。

関連マニュアル

用途	タイトル
最新情報	Sun Management Center ご使用にあたって
Sun Management Center ソフトウェアのインストールと構成	Sun Management Center インストールと構成ガイド
Sun Management Center ソフトウェアの使用	Sun Management Center ユーザーガイド
Sun Fire V210 および V240 プラットフォーム	Sun Fire V210 および V240 サーバー設置マニュアル Sun Fire V210 および V240 サーバー管理マニュアル

用途	タイトル
Sun Fire V250 プラットフォーム	Sun Fire V250 サーバー設置マニュアル
	Sun Fire V250 サーバー管理マニュアル
Sun Fire V440 プラットフォーム	Sun Fire V440 サーバー設置マニュアル
	Sun Fire V440 サーバー管理マニュアル
	Sun Fire V440 サーバー診断および障害追跡の概要
Netra 240 プラットフォーム	Netra 240 Server Release Notes
	Netra 240 Server Quick Start Guide
	Netra 240 サーバー設置マニュアル
	Netra 240 サーバー管理マニュアル
Netra 440 プラットフォーム	Netra 440 Server Release Notes
	Netra 440 Server Quick Start Guide
	Netra 440 Server Installation Guide
	Netra 440 Server System Administration Guide
Sun Blade 2500 および 1500 プラット フォーム (シルバー)	Sun Blade 2500 ご使用にあたって (シルバー)
	Sun Blade 2500 Service, Diagnostics and Troubleshooting Manual (Silver)
	Sun Blade 1500 ご使用にあたって (シルバー)
	Sun Blade 1500 Service, Diagnostics and Troubleshooting Manual (Silver)
Sun Blade 2500 および 1500 プラット フォーム (Red)	Sun Blade 2500 Getting Started Guide (Red)
	Sun Blade 2500 Service, Diagnostics and Troubleshooting Manual (Red)
	Sun Blade 1500 Getting Started Guide (Red)
	Sun Blade 1500 Service, Diagnostics and Troubleshooting Manual (Red)
Sun Fire T2000 プラットフォーム	Sun Fire T2000 Server Overview
	Sun Fire T2000 Server Getting Started Guide
	Sun Fire T2000 Server Administration Guide

マニュアル、サポート、およびトレーニング

URL	説明
http://jp.sun.com/documentation	PDF と HTML マニュアルをダウンロードする、印刷マニュアルを注文する
http://jp.sun.com/support/	テクニカルサポートを受ける、パッチをダウンロードする
http://jp.sun.com/training/	Sun のコースについて情報を入手する

Sun 以外の Web サイト

このマニュアルで紹介する Sun 以外の Web サイトが使用可能かどうかについては、Sun は責任を負いません。これらのサイトやリソース上、またはこれらを経由して利用できるコンテンツ、広告、製品、またはその他の資料についても、Sun は保証しておらず、法的責任を負いません。また、これらのサイトやリソース上、またはこれらを経由して利用できるコンテンツ、商品、サービスの使用や、それらへの依存に関連して発生した実際の損害や損失、またはその申し立てについても、Sun は一切の責任を負いません。

コメントをお寄せください

マニュアルの品質改善のため、お客様からのご意見およびご要望をお待ちしております。コメントは下記よりお送りください。

<http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

ご意見をお寄せいただく際には、下記のタイトルと Part No. を記載してください。

Sun Management Center 3.6 Sun Fire、Sun Blade および Netra システムのための追補マニュアル, Part No. 819-4861-10

第1章

概要

この章では、サポート対象のプラットフォーム用の Sun Management Center アドオンソフトウェアの概要を説明します。

この章は次の節で構成されています。

- 1 ページの「Sun Management Center」
- 2 ページの「サポート対象のプラットフォーム」
- 2 ページの「プラットフォームのアイコン」
- 4 ページの「ハードウェアプラットフォームモジュール」
- 9 ページの「アラーム」

Sun Management Center

Sun Management Center は、Java™ と SNMP (ネットワーク管理用プロトコルの一種。Simple Network Management Protocol の略) を使用したオープンで拡張可能なシステム監視および管理のソリューションで、Sun の製品とそれらのサブシステム、コンポーネント、および周辺機器について、企業規模の統合化された総合的管理を可能にします。

『Sun Management Center ユーザーガイド』では、Sun Management Center のアーキテクチャーを明確に示す定義、説明、および図を記載しています。コンソール、サーバー、エージェント、ドメイン、およびモジュール間の対話の詳細については、このマニュアルを参照してください。

Sun Management Center 環境内のハードウェア監視のサポートは、適切なハードウェアプラットフォームモジュールのアドオンソフトウェアを使用することにより実現されます。これらのアドオンソフトウェアは、ハードウェア構成および障害報告の情報を Sun Management Center 管理サーバーとコンソールに提供します。

サポート対象のプラットフォーム

このマニュアルには、Sun Fire、Sun Blade および Netra システム用の Sun Management Center アドオンソフトウェアに関連する情報が記載されています。このハードウェアプラットフォームモジュールでは、現在、次のプラットフォームをサポートしています。

- Netra 440 サーバー
- Netra 240 サーバー
- Sun Fire V210 サーバー
- Sun Fire V240 サーバー
- Sun Fire V250 サーバー
- Sun Fire V440 サーバー
- Sun Fire T2000 サーバー
- Sun Blade 1500 ワークステーション
- Sun Blade 2500 ワークステーション

プラットフォームのアイコン

Sun Management Center のグラフィカルユーザーインターフェース (GUI) では、プラットフォームがアイコンで表示されます。監視対象プラットフォームごとに、プラットフォームエージェントを表すアイコンが表示されます。

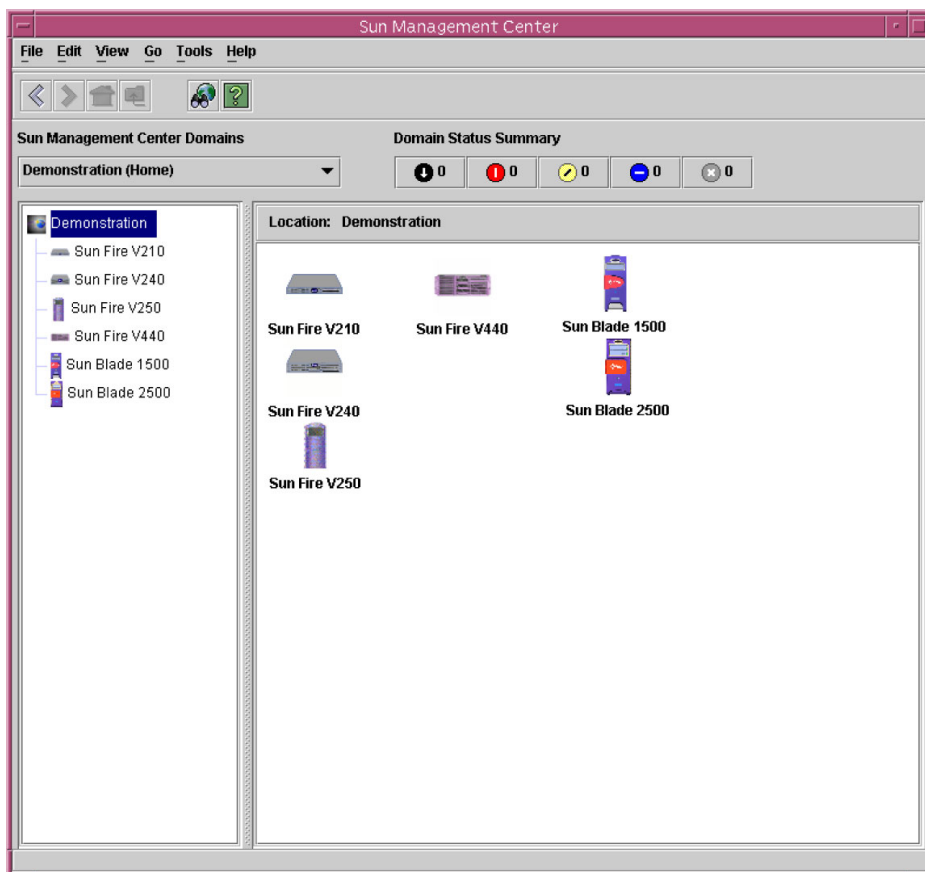


図 1-1 サポート対象のプラットフォームのアイコンを表示するドメイン表示

これらのアイコンを展開してプラットフォームの詳細を表示することができます。
Sun Management Center で詳細ビューアが起動し、Sun Management Center の監視
および制御に使用するモジュールに加えて、ハードウェアプラットフォームモジュール
が表示されます。

ハードウェアプラットフォームモジュール

ハードウェアプラットフォームモジュールは監視対象ハードウェアを示し、次の表示を表示します。

- ブラウザ表示
- 論理表示
- 物理表示

注 – ハードウェアプラットフォームモジュールは、「構成リーダー」または「プラットフォームアドオンソフトウェア」と呼ばれることもあります。

ブラウザ表示

ブラウザ表示では、プラットフォームのハードウェアに関する情報が、さまざまな物理コンポーネントおよび論理コンポーネントを示す表形式で表示されます。

ブラウザ表示では、次の 3 つの主なカテゴリにハードウェア構成が表示されます。

- 物理コンポーネント
- デバイス情報
- 環境センサ

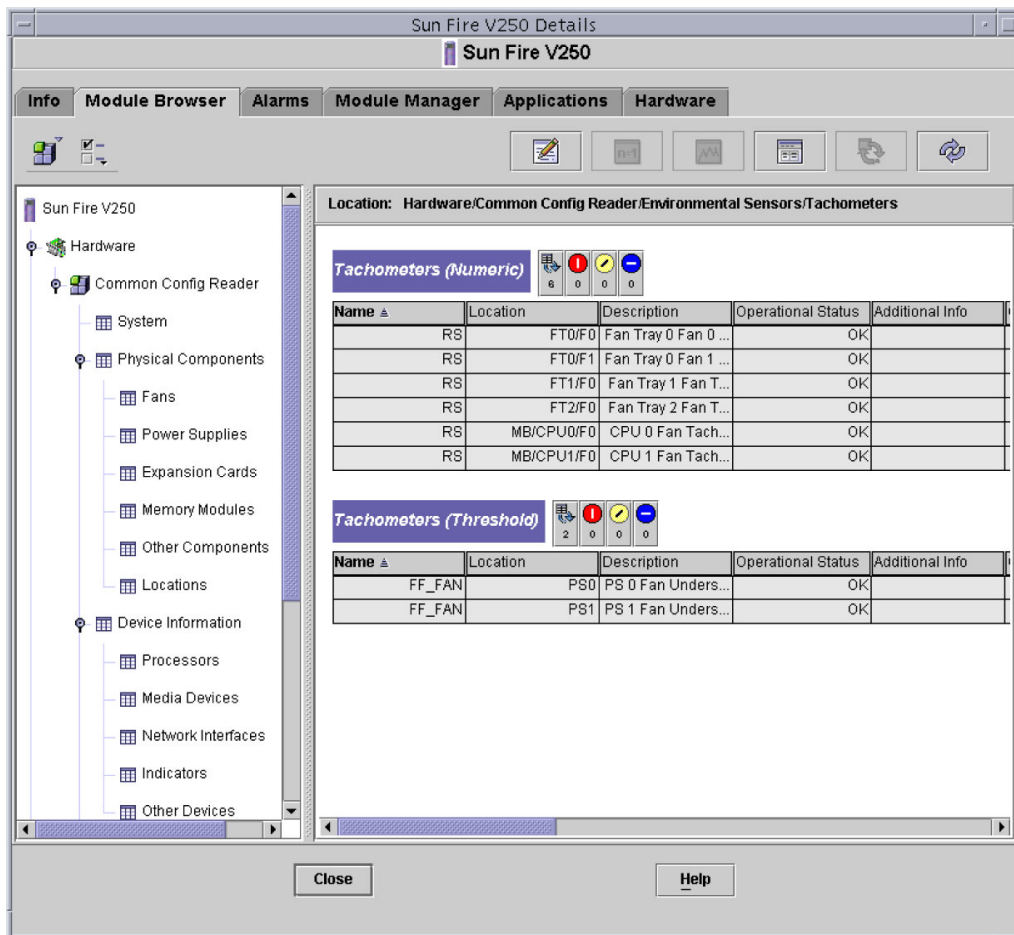


図 1-2 物理コンポーネント、デバイス情報および環境センサが表示された Sun Fire V250 のブラウザ表示

物理コンポーネント

物理コンポーネントは物理空間を占有し、ファン、電源装置、シャーシなどが含まれます。ブラウザ表示では、すべての物理コンポーネントに共通する基本的なプロパティのセット (パーツ番号、シリアル番号など) と、適切に定義された追加のプロパティを使用して、各物理コンポーネントが表示されます。

デバイス情報

デバイスはプラットフォームを構成する論理デバイスを表します。たとえば、CPU モジュールに1つ以上のプロセッサコアが含まれる場合があります。この場合、CPU モジュールはブラウザで1つの物理コンポーネントとして表されますが、プロセッサコアはブラウザ表示で別々のデバイスとして表されます。

ブラウザ表示では、すべてのデバイスに共通する基本的なプロパティのセットを使用して、各デバイスが表示されます。追加のプロパティを定義することにより共通セットは適切に拡張されます。たとえば、*speed* はネットワークインタフェースを定義する追加プロパティです。

環境センサ

ブラウザ表示では、プラットフォームのさまざまな環境センサが個別のカテゴリとして表示されます。環境センサには、電圧、電流、温度、ファン速度などのセンサがあります。次の2つのクラスのセンサがサポートされています。

- 数値センサ
- 非数値センサ

詳細について、35 ページの「環境センサのプロパティ」にさまざまなテーブルと列を示します。

論理表示

論理表示のツリー構造の各ノードは、ブラウザ表示にある1つのテーブルの1つの行に相当します。ツリーの最上位はシステムオブジェクトです。親子の関係を使用してプラットフォームの物理的な包含階層が示されます。システムオブジェクトの子は一連の場所を表し、それぞれが1つの物理コンポーネントを含みます。物理コンポーネントの子は、物理デバイスまたは論理デバイスを示す場所か、それらのデバイスを監視する環境センサを表します。

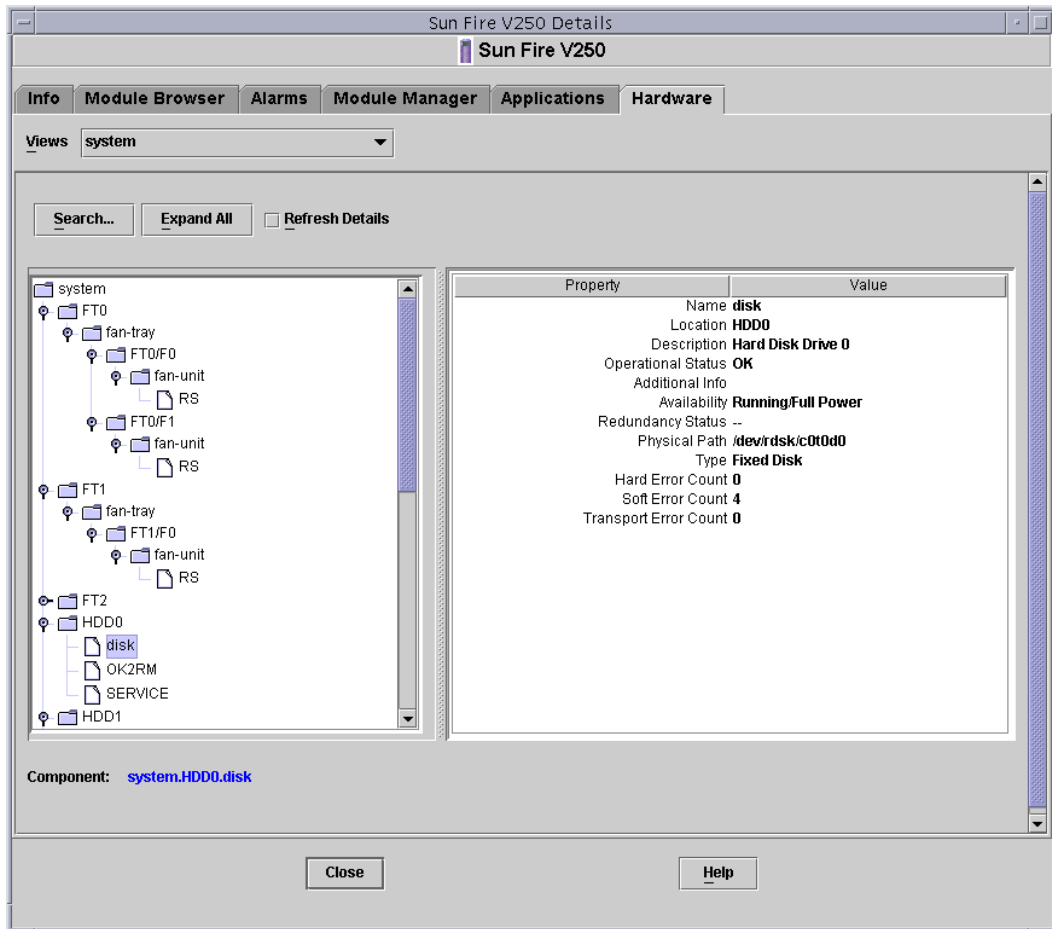


図 1-3 Sun Fire V250 論理表示のセクション

物理表示

物理表示は、プラットフォームの画像 (正面、背面、上部など) によって表されます。画像によって、物理コンポーネントまたは論理コンポーネントのテーブルに示された個々の物理コンポーネントまたは論理コンポーネントや、視認可能な LED を選択できるようになります。物理画像の上にマウスを動かすと、右側のパネルにノード情報を表示できます。

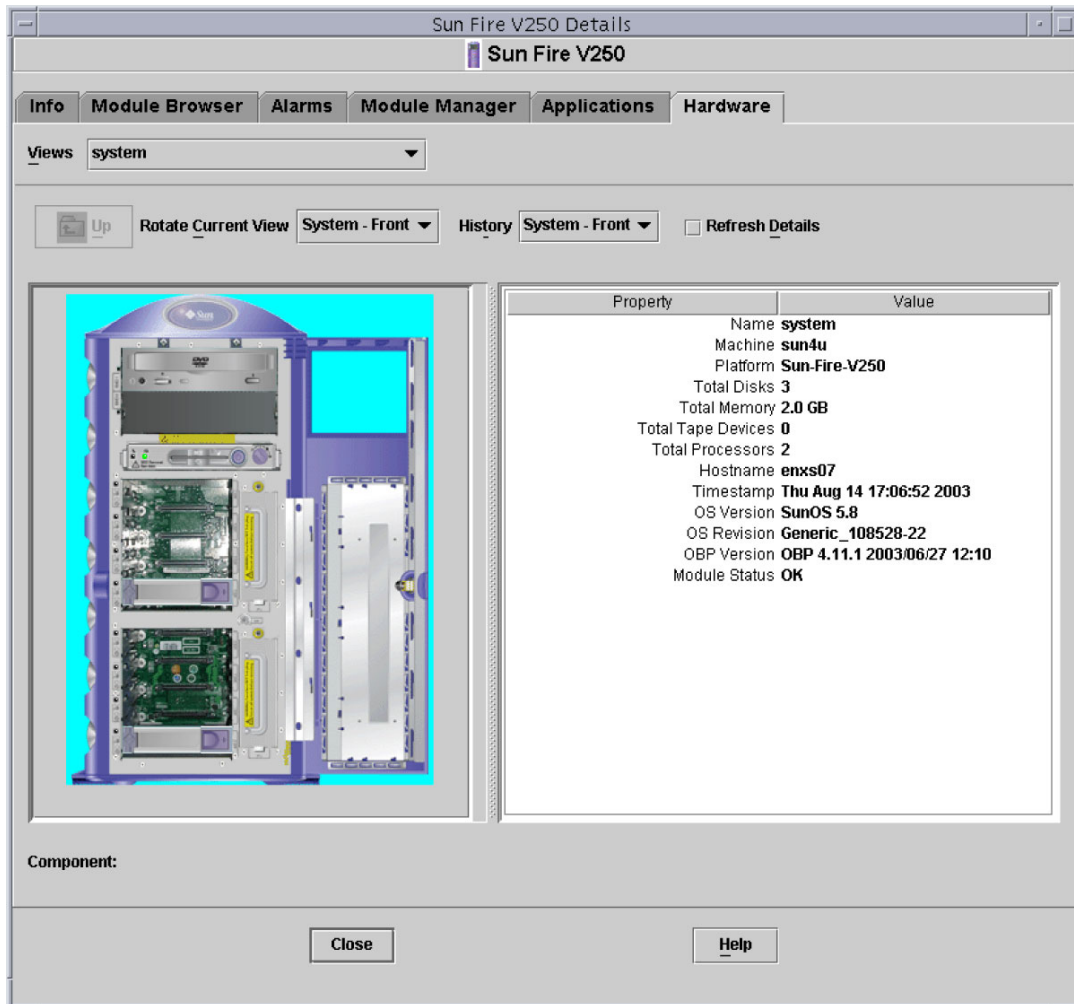


図 1-4 Sun Fire V250 物理表示 - 正面

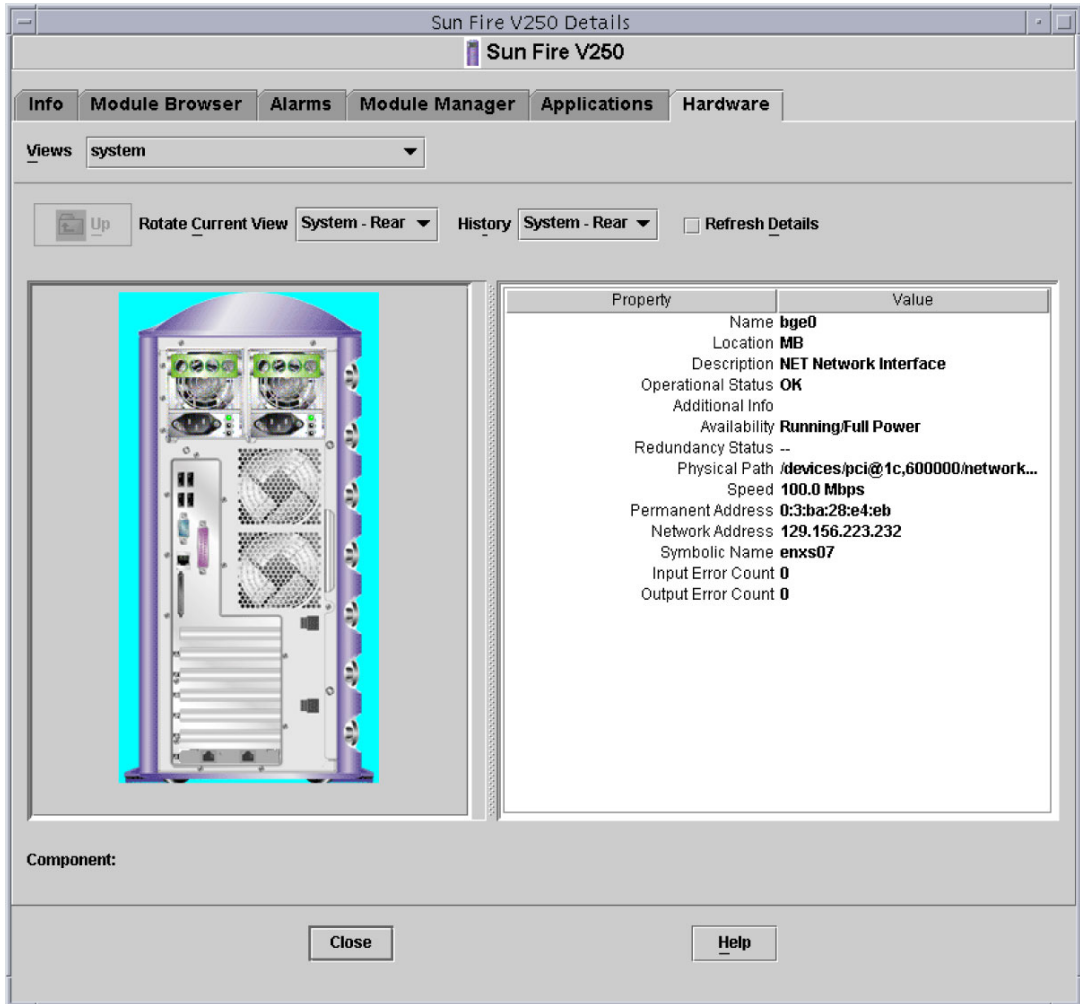


図 1-5 Sun Fire V250 物理表示 - 背面

アラーム

ハードウェアプラットフォームモジュールには、さまざまなコンポーネントの状態を判断するためにシステムが使用するいくつかのアラーム規則が組み込まれています。各アラーム規則は、ハードウェアプラットフォームモジュールにあるテーブルの特定のプロパティに適用されます。さまざまなアラームの詳細については、第4章で説明します。

第2章

インストール

この章では、2 ページの「サポート対象のプラットフォーム」に示したプラットフォームに Sun Management Center ソフトウェアをインストールして設定する方法について説明します。

この章は次の節で構成されています。

- 11 ページの「Sun Management Center ソフトウェア」
- 12 ページの「ソフトウェアの入手」
- 13 ページの「ソフトウェアのインストールと構成」
- 15 ページの「既存のアドオンソフトウェアの削除」
- 19 ページの「エージェント更新イメージの作成とインストール」

Sun Management Center ソフトウェア

Sun Management Center は次のものから構成されています。

- Sun Management Center コアコンポーネント
- 付加価値ソフトウェア
- ハードウェアプラットフォームモジュール
- インテグレーションアダプタ

『Sun Management Center インストールと構成ガイド』では、Sun Management Center コアコンポーネントのインストールと設定およびソフトウェアの起動と停止に関する基本情報を記載しています。付加価値ソフトウェアとインテグレーションアダプタについては、次の Sun Management Center の Web サイトを参照してください。

<http://www.sun.com/software/solaris/sunmanagementcenter>

各プラットフォームをサポートするには、監視対象のプラットフォーム用のコア Sun Management Center ソフトウェアとアドオンソフトウェアが必要です。

表 2-1 は、Sun Management Center を監視対象プラットフォームにインストールする場合に必要な固有のソフトウェアのバージョンを示しています。

Sun Management Center のインストールとセットアップスクリプトを使用する場合、表示されるメッセージの内容と順序は、この章に示す例と異なる場合があります。この章の例では、表示されるメッセージの基本的な内容とメッセージが表示されるおおよその順序を示しています。

インストールする追加コンポーネントやその他の選択肢に依存するインストールとセットアップスクリプトがあります。

表 2-1 必要なソフトウェアバージョン

ホスト	必要なソフトウェア	バージョン
Sun Management Center サーバー	Solaris オペレーティングシステム Sun Management Center ハードウェアプラットフォームモジュールパッケージ	8, 9, 10 3.6 プラットフォーム固有 (付録 B を参照)
監視対象のプラットフォーム	Solaris オペレーティングシステム Sun Management Center ハードウェアプラットフォームモジュールパッケージ	* 3.6 プラットフォーム固有 (付録 B を参照)

* Solaris オペレーティング環境はサポート対象のプラットフォームに応じて異なります。使用するプラットフォームでサポートされる Solaris のバージョンの詳細については、プラットフォームのマニュアルを参照してください。

この章で説明するインストール処理によって、共通パッケージとプラットフォーム固有のパッケージが自動的にインストールされます。

ソフトウェアの入手

Sun Fire、Sun Blade および Netra システムのためのアドオンソフトウェアは、コア Sun Management Center 3.6 ソフトウェアに含まれています。CD-ROM に格納され、Web からダウンロードすることもできます。このソフトウェアは次の URL から入手できます。

<http://www.sun.com/software/download/>

ソフトウェアのインストールと構成

注 – サポートされるプラットフォームのために既存の Sun Management Center 3.6 を拡張する場合、Sun Management Center コアパッケージを再インストールする必要はありません。

このマニュアルでは、Sun Management Center コア製品のインストールと設定の処理については説明していません。コアソフトウェアのインストールと設定については、『Sun Management Center インストールと構成ガイド』を参照してください。

▼ インストールの準備

管理ソフトウェアをインストールするには、使用している環境が特定の要件を満たしている必要があります。

1. Sun Management Center サーバーにするサーバーを決定します。

サーバーの使用可能メモリ容量は、『Sun Management Center インストールと構成ガイド』の要件を満たしている必要があります。

注 – Sun Management Center サーバーが停止すると、Sun Management Center ソフトウェアを使用したシステムの管理はできません。サーバー要件の詳細については、『Sun Management Center インストールと構成ガイド』を参照してください。

2. インストール処理を簡略化するため、インストール開始前に、手元に次の情報が用意されていることを確認します。

- Sun Management Center サーバーの名前
- 監視対象システムの名前とエージェントのポート番号

インストールスクリプトの実行方法は、従来のインストールスクリプト、`es-inst` を使用する方法と、GUI インストール機能である `es-guiinst` を使用する方法の 2 通りあります。使用するインストール方法によって、そのあとに自動実行されるセットアップスクリプトが変わります。たとえば、インストールに GUI インストールプログラムを使用した場合、デフォルトで `es-guisetup` が実行されます。

注 – Sun Management Center コアパッケージはプラットフォーム固有のパッケージとは異なる方法で処理されます。このインストールプログラムでは、コアパッケージは自動更新されません。コアパッケージを更新するには、対象となるサポートプラットフォームに固有のリリースノートの説明に従って適切なパッチを適用する必要があります。

Sun Management Center のコアソフトウェアのインストール方法については、最新の『Sun Management Center ご使用にあたって』、および『Sun Management Center インストールと構成ガイド』を参照してください。

GUI 設定の使用

GUI 設定アプリケーションでは、GUI を通してサポートプラットフォーム用のアドオンソフトウェアを設定することができます。GUI 設定アプリケーションの詳細については、『Sun Management Center ユーザーガイド』および『Sun Management Center インストールと構成ガイド』を参照してください。

▼ ソフトウェアをインストールする

1. 必要な場合は、Sun Management Center サーバー、エージェント、およびコンソールに Sun Management Center コアソフトウェアのバージョン 3.6 をインストールまたはアップグレードします。

詳細については、『Sun Management Center インストールと構成ガイド』を参照してください。

インストールの間に、インストールするすべてのアドオンソフトウェア製品のチェックボックスをチェックするよう求められます。チェックするのは次のボックスです。

ELP Config-Reader Monitoring

2. Sun Management Center 3.6 コアがインストールされているが、このバージョンのアドオンソフトウェアはまだインストールされていない場合、次の手順を実行します。

- a. Sun Management Center サーバーに Sun Management Center 3.6 アドオンサーバーソフトウェアをインストールします。

詳細については、『Sun Management Center インストールと構成ガイド』を参照してください。

インストールの間に、インストールするすべてのアドオンソフトウェア製品のチェックボックスをチェックするよう求められます。チェックするのは次のボックスです。

ELP Config-Reader Monitoring

- b. 監視対象プラットフォームに Sun Management Center 3.6 エージェントソフトウェアおよびアドオンエージェントソフトウェアをインストールします。

詳細については、『Sun Management Center インストールと構成ガイド』を参照してください。

インストールの間に、インストールするすべてのアドオンソフトウェア製品のチェックボックスをチェックするよう求められます。チェックするのは次のボックスです。

ELP Config-Reader Monitoring

インストール処理全体の流れについては、図 2-1 を参照してください。

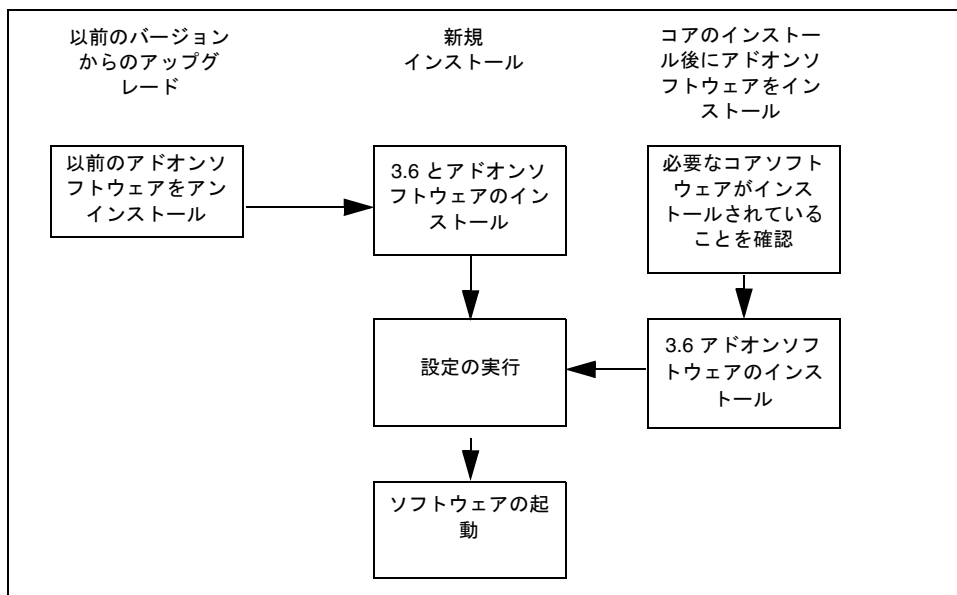


図 2-1 インストール処理の流れ

既存のアドオンソフトウェアの削除

ここでは、このリリースのアドオンソフトウェアをサーバーおよびエージェントから削除する方法について説明します。以前のバージョンのアドオンソフトウェアを削除するには、そのバージョンに対応するバージョンの追補マニュアルを参照してください。

各ハードウェアに適したプラットフォーム固有の Sun Management Center 3.6 パッケージについては、55 ページの「プラットフォーム固有の情報」を参照してください。

▼ 既存の 3.6 アドオンソフトウェアをサーバーから削除する

1. `es-uninst` コマンドを使用して、インストールされているすべてのプラットフォーム固有の Sun Management Center サーバーパッケージを削除します。

コード例 2-1 `es-uninst` コマンドを使用した既存の 3.6 サーバーパッケージの削除

```
# /opt/SUNWsymon/sbin/es-uninst

This script will help you to uninstall the Sun Management Center software.

Following Sun Management Center Products are installed:
-----
PRODUCT                                DEPENDENT PRODUCTS
-----
Production Environment                  All Addons
Sun Fire Platform Administration        None
ELP Config-Reader Monitoring           None

Do you want to uninstall Production Environment (y|n|q) n
Do you want to uninstall Sun Fire Platform Administration (y|n|q) n
Do you want to uninstall ELP Config-Reader Monitoring (y|n|q) y

The following product[s] will be removed:
  ELP Config-Reader Monitoring.

Do you want to change selection (y|n|q) n

Select Save Data to save all user and configuration data. Your data is
saved and can be restored when you re-install Sun Management Center.
Do you want to preserve data (y|n|q) n

Proceed with uninstall (y|n|q) y

java server is not running
```


コード例 2-1 es-uninst コマンドを使用した既存の 3.6 サーバーパッケージの削除 (続き)

```
Calling Uninstall script of ELP Config-Reader Monitoring...
Making list of packages to uninstall...
Sorting list of packages according to reverse timestamp...
```

```
Removing package :SUNWescws...
```

```
Removal of <SUNWescws> was successful.
```

```
Removing package :SUNWescps...
```

```
Removal of <SUNWescps> was successful.
```

```
[途中省略]
```

```
Status of uninstallation:
```

```
-----
PRODUCT                                STATUS
-----
ELP Config-Reader Monitoring           Removed
```

```
Uninstall logfile is
:/var/opt/SUNWsymon/install/uninstall_reboot.030701153157.3517
#
```

▼ 既存の 3.6 アドオンソフトウェアをエージェントから削除する

1. es-uninst コマンドを使用して、すべてのプラットフォーム固有のエージェントパッケージを削除します。

コード例 2-2 es-uninst コマンドを使用した既存の 3.6 エージェントパッケージの削除

```
# /opt/SUNWsymon/sbin/es-uninst
This script will help you to uninstall the Sun Management Center software.
```

```
Following Sun Management Center Products are installed:
```

```
-----
PRODUCT                                DEPENDENT PRODUCTS
-----
Production Environment                   All Addons
Sun Fire Platform Administration         None
ELP Config-Reader Monitoring             None
```

コード例 2-2 es-uninst コマンドを使用した既存の 3.6 エージェントパッケージの削除 (続き)

```
Do you want to uninstall Production Environment (y|n|q) n
Do you want to uninstall Sun Fire Platform Administration (y|n|q) n
Do you want to uninstall ELP Config-Reader Monitoring (y|n|q) y

The following product[s] will be removed:
  ELP Config-Reader Monitoring.

Do you want to change selection (y|n|q) n
Select Save Data to save all user and configuration data. Your data is
saved and can be restored when you re-install Sun Management Center.
Do you want to preserve data (y|n|q) n

Proceed with uninstall (y|n|q) y

chown:unknown group id smcorag
Stopping all Sun Management Center processes. This may take a few moments...
agent component is not running
platform component is not running
Calling Uninstall script of ELP Config-Reader Monitoring...
Making list of packages to uninstall...
Sorting list of packages according to reverse timestamp...

Removing package :SUNWescwa...

Removal of <SUNWescwa> was successful.

Removing package :SUNWescpl...

Removal of <SUNWescpl> was successful.

[途中省略]

Status of uninstallation:
-----
PRODUCT                                     STATUS
-----
ELP Config-Reader Monitoring                 Removed

Uninstall logfile is
:/var/opt/SUNWsymon/install/uninstall_enxs07.030701160035.8064
```

エージェント更新イメージの作成とインストール

Sun Fire、Sun Blade、および Netra システム用のアドオンソフトウェアは、エージェント更新機能をサポートしています。方法については、『Sun Management Center インストールと構成ガイド』の第 6 章にある「エージェント更新 (インストール) イメージの作成」を参照してください。

▼ アドオンソフトウェアを含んだエージェント更新イメージを作成する

1. Sun Management Center ソースディレクトリの名前の入力を求められたら、アドオンソフトウェアの `disk1/image` ディレクトリへのパスを入力します。

たとえば、この章の説明に従ってアドオンソフトウェアをインストールした場合、このインストールソースディレクトリは次のようになります。

```
/var/tmp/temp_directory/disk1/image
```

2. エージェント更新イメージの適用方法については、『Sun Management Center インストールと構成ガイド』の第 6 章にある「エージェント専用インストールイメージ、エージェント更新イメージ、およびパッチ専用イメージの適用」を参照してください。

第3章

物理プロパティと論理プロパティ

Sun Management Center コンソールでは、共通のテーブルとフィールドのセットを使用して、サポートプラットフォームにハードウェア情報を提供します。この章では、テーブル別にクラスとプロパティの簡単な説明を示します。これらのテーブルは、次の各節にあります。

- 22 ページの「システムのプロパティ」
 - システム情報テーブル - 表 3-1
- 23 ページの「物理コンポーネントのプロパティ」
 - ファンテーブル - 表 3-3
 - 電源装置テーブル - 表 3-4
 - 拡張カードテーブル - 表 3-5
 - メモリモジュールテーブル - 表 3-6
 - その他の物理コンポーネントテーブル - 表 3-7
 - 場所テーブル - 表 3-8
- 30 ページの「論理デバイスのプロパティ」
 - プロセッサテーブル - 表 3-9
 - メディアデバイステーブル - 表 3-10
 - ネットワークインタフェーステーブル - 表 3-11
 - インジケータテーブル - 表 3-12
 - その他のデバイステーブル - 表 3-13
- 35 ページの「環境センサのプロパティ」
 - 数値センサテーブル - 表 3-14
 - 非数値センサテーブル - 表 3-15

値 -- と空の値

この章で説明するテーブルで、次の場合はフィールドの値が -- (二重ダッシュ) または空になっています。

- テーブルまたはフィールドが現在未使用の場合
たとえば、多くの物理コンポーネントにはシリアル番号がありません。その場合、対応するテーブルの「シリアル番号」フィールドには -- が表示されます。その他の共通プロパティでも同様です。
- 特定の条件のデータのみが表示されるフィールド
たとえば、「追加情報」フィールドには、アラーム条件が存在する場合にのみテキスト情報が表示されます。

システムのプロパティ

システム情報テーブルには、システムハードウェアの最上位の表示が含まれます。表 3-1 にプロパティを示します。

表 3-1 システム情報テーブルのプロパティ

プロパティ	説明
名前	システムの固定値
マシン	CPU アーキテクチャー (sun4v など)
プラットフォーム	プラットフォームのタイプ
総ディスク数	プラットフォームを通じて直接管理されるハードディスクの合計数
総メモリー容量	DIMM メモリの総容量
総テープデバイス数	プラットフォームを通じて直接管理されるテープデバイスの合計数
総プロセッサ数	CPU プロセッサの総数
ホスト名	システムの IP ホスト名
タイムスタンプ	エージェントの起動日時
OS バージョン	システムの OS バージョン
OS リビジョン	OS リビジョン
OBP バージョン	OpenBoot™ PROM のバージョン
モジュールの状態	モジュールの状態

物理コンポーネントのプロパティ

ここで示すテーブルは、システム内の物理コンポーネントのインスタンスを表します。

共通プロパティ

場所テーブル以外のすべての物理コンポーネントは共通のプロパティセットを共有しています。

- 名前
- 場所
- 説明
- モデル名
- 動作状態
- 追加情報
- パーツ番号
- バージョン
- シリアル番号
- 製造元
- ホットスワップ対応
- リムーバブル

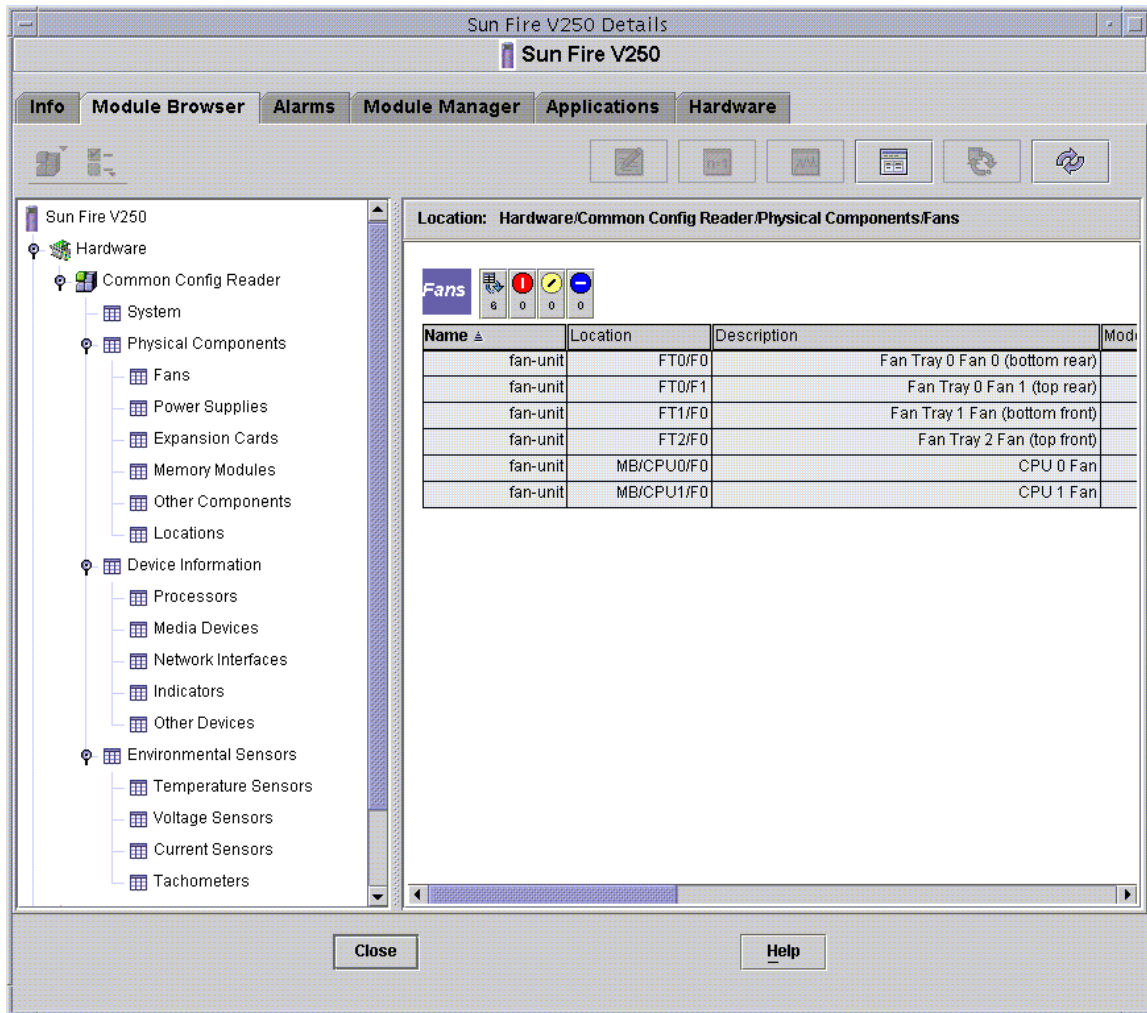


図 3-1 物理コンポーネントの「場所」と「説明」の列 (Sun Fire V250 の場合)

表 3-2 は、「動作状態」プロパティに表示される値を示しています。

表 3-2 動作状態の値

値	説明
OK	コンポーネントは正常に動作しています。
Error	コンポーネントでエラーが検出されました。
Degraded	コンポーネントはサービスを提供していますが、機能が低下しています。
Unknown	現在の動作状態が不明です。
Failure Predicted	コンポーネントは正常に動作していますが、障害の発生が予測されています。
Starting	コンポーネントは起動中で、まだオンラインになっていません。
Stopping	コンポーネントは停止中です。
service	コンポーネントの構成、保守、クリーニング、または管理が実行されています。
Stressed	コンポーネントは動作していますが、注意が必要です。高負荷状態の例として、overloaded (過負荷)、overheated (過熱) などが挙げられます。
Non Recoverable	回復不能なエラーが発生しました。
No Contact	監視システムの現在のインスタンスではこのコンポーネントを認識していますが、一度も接続を確立できていません。
Lost Comms	コンポーネントは認識されており、以前は通信が正常に行われていましたが、現在は接続できません。
Stopped	コンポーネントは認識されており障害も発生していませんが、動作しておらず、ユーザーにサービスを提供できません。つまり、コンポーネントは意図的に機能停止されています。
Not Present	コンポーネントがシステムに存在しません (Sun Fire T2000 のみ)
-- または値が空	詳細は、21 ページの「値 -- と空の値」を参照してください。

ファン

表 3-3 は、ファンテーブルのプロパティを示しています。

表 3-3 ファンテーブルのプロパティ

プロパティ	説明
名前	一意の名前
場所	デバイスの場所のパス
説明	コンポーネントの簡単な説明
モデル名	Sun Microsystems モデル名
動作状態	コンポーネントの現在の状態。値については、表 3-2 を参照してください。
追加情報	現在の動作状態の補足情報
パーツ番号	Sun Microsystems またはその他のパーツ番号
バージョン	パーツのバージョン番号
シリアル番号	パーツのシリアル番号
製造元	業者名
ホットスワップ対応	コンポーネントがホットスワップ対応かどうかを指定するブール値*
リムーバブル	コンポーネントが取り外し可能かどうかを指定するブール値†

* システムを停止せずに交換できるコンポーネントはホットスワップ対応です。

† コンポーネントが取り外し可能なのは、コンポーネントが属するグループが取り外し可能な場合ではなく、コンポーネント自体が取り外し可能な場合です。たとえば、ファントレイ自体は取り外し可能でも、ファントレイ内の個々のファンは取り外し可能でない場合があります。FRU (現場交換可能ユニット) はすべて「リムーバブル」です。

電源装置

表 3-4 は、電源装置テーブルのプロパティを示しています。

表 3-4 電源装置テーブルのプロパティ

プロパティ	説明
名前	一意の名前
場所	デバイスの場所のパス
説明	コンポーネントの簡単な説明
モデル名	Sun Microsystems モデル
動作状態	コンポーネントの現在の状態。値については、表 3-2 を参照してください。

表 3-4 電源装置テーブルのプロパティ (続き)

プロパティ	説明
追加情報	現在の動作状態の補足情報
パーツ番号	Sun Microsystems またはその他のパーツ番号
バージョン	パーツのバージョン番号
シリアル番号	パーツのシリアル番号
製造元	業者名
ホットスワップ対応	コンポーネントがホットスワップ対応かどうかを指定するブール値
リムーバブル	コンポーネントが取り外し可能かどうかを指定するブール値

拡張カード

表 3-5 は、システムに取り付けられているその他の拡張カードを示しています。

表 3-5 拡張カードテーブルのプロパティ

プロパティ	説明
名前	一意の名前
場所	デバイスの場所のパス
説明	コンポーネントの簡単な説明
モデル名	Sun Microsystems モデル
動作状態	コンポーネントの現在の状態。値については、表 3-2 を参照してください。
追加情報	現在の動作状態の補足情報
パーツ番号	Sun Microsystems またはその他のパーツ番号
バージョン	パーツのバージョン番号
シリアル番号	パーツのシリアル番号
製造元	業者名
ホットスワップ対応	コンポーネントがホットスワップ対応かどうかを指定するブール値
リムーバブル	コンポーネントが取り外し可能かどうかを指定するブール値
バスの種類	PCI、cPCI、SCSI などのカードを識別

拡張カードテーブルには、システムに取り付けられている PCI カードに対応する行も含まれています。ハードウェアプラットフォームモジュールの「説明」プロパティにはカードの説明、「モデル名」プロパティには SunSM Store オプションコンポーネントコード、「パーツ番号」プロパティには Sun Microsystems パーツ番号が表示されます。

付録 A では、現在この情報が表示されるカードの一覧を示しています。ソフトウェアのアップデートに伴って、対象カードは逐次追加されます。

カードにこれらの情報を表示するアドオンソフトウェアが設定されていない場合は、「説明」、「モデル名」、「パーツ番号」の各プロパティに値が -- と表示されます。

メモリモジュール

表 3-6 は、DIMM などの物理メモリアコンポーネントを示しています。

表 3-6 メモリモジュールテーブルのプロパティ

プロパティ	説明
名前	一意の名前
場所	デバイスの場所のパス
説明	コンポーネントの簡単な説明
モデル名	Sun Microsystems モデル
動作状態	コンポーネントの現在の状態。値については、表 3-2 を参照してください。
追加情報	現在の動作状態の補足情報
パーツ番号	Sun Microsystems またはその他のパーツ番号
バージョン	パーツのバージョン番号
シリアル番号	パーツのシリアル番号
製造元	業者名
ホットスワップ対応	コンポーネントがホットスワップ対応かどうかを指定するブール値
リムーバブル	コンポーネントが取り外し可能かどうかを指定するブール値
サイズ	DIMM サイズ
バンクラベル	現在のコンポーネントに関連付けられた物理ラベル*
ECC エラーカウント	このコンポーネントについて記録された ECC エラーカウントの数

* この文字列は、Solaris 論理バンクの番号付けではなくメモリ位置の物理ラベル付けに関連します。

その他の物理コンポーネント

表 3-7 は、前述の一覧以外のすべての論理コンポーネントに使用されます。

表 3-7 その他の物理コンポーネントテーブルのプロパティ

プロパティ	説明
名前	一意の名前
場所	デバイスの場所のパス
説明	コンポーネントの簡単な説明
モデル名	Sun Microsystems モデル
動作状態	コンポーネントの現在の状態。値については、表 3-2 を参照してください。
追加情報	現在の動作状態の補足情報
パーツ番号	Sun Microsystems またはその他のパーツ番号
バージョン	パーツのバージョン番号
シリアル番号	パーツのシリアル番号
製造元	業者名
ホットスワップ対応	コンポーネントがホットスワップ対応かどうかを指定するブール値
リムーバブル	コンポーネントが取り外し可能かどうかを指定するブール値

場所

表 3-8 に場所のプロパティを示します。場所はコンポーネントを (ホット) プラグ可能なスロットを表します。

表 3-8 場所テーブルのプロパティ

プロパティ	説明
名前	一意の名前
場所	デバイスの場所のパス
場所の種類	場所を占有するコンポーネントの種類を指定
占有状態	使用可能な値は、unknown (不明)、occupied (占有) または empty (空)

論理デバイスのプロパティ

デバイスは論理デバイスを表します。たとえば、CPU モジュールには 1 つ以上のプロセッサが含まれる可能性があるため、CPU モジュールは物理コンポーネントとして表されますが、モジュール内のプロセッサは論理デバイスとして表されます。次のテーブルに、共通モデルに含まれる論理デバイスを示します。

The screenshot shows the Sun Fire V250 Details window with the 'Indicators' tab selected. The left sidebar shows a tree view with 'Indicators' highlighted. The main area displays a table of indicators with columns for Name, Location, Description, Operational Status, and Additional Info. Above the table, there are status indicators: 17 OK, 0 Warning, 0 Error, and 0 Critical.

Name	Location	Description	Operational Status	Additional Info
ACT	PS0	PS 0 Active Indica...	OK	
ACT	PS1	PS 1 Active Indica...	OK	
ACT	SCCR	System Active Ind...	OK	
OK2RM	HDD0	HDD 0 Okay-To-...	OK	
OK2RM	HDD1	HDD 1 Okay-To-...	OK	
OK2RM	HDD2	HDD 2 Okay-To-...	OK	
OK2RM	HDD3	HDD 3 Okay-To-...	OK	
OK2RM	HDD4	HDD 4 Okay-To-...	OK	
OK2RM	HDD5	HDD 5 Okay-To-...	OK	
OK2RM	HDD6	HDD 6 Okay-To-...	OK	
OK2RM	HDD7	HDD 7 Okay-To-...	OK	
OK2RM	PS0	PS 0 Okay-To-Re...	OK	
OK2RM	PS1	PS 1 Okay-To-Re...	OK	
SERVICE	PS0	PS 0 Service-Req...	OK	
SERVICE	PS1	PS 1 Service-Req...	OK	
SERVICE	SCCR	System Service-...	OK	
keyswitch	SCCR/SYSTCTRL	System Control K...	OK	

図 3-2 インジケータを示す論理デバイステーブルの一部 (Sun Fire V250 の場合)

「可用性」プロパティの値

論理デバイスでは、「可用性」プロパティを使用します。可用性の値は次のとおりです。

- Running/Full Power
- OK
- Warning
- In Test
- Not Applicable
- Power Off
- Off Line
- Off Duty
- Degraded
- Not Installed
- Install Error
- Power Save - Unknown
- Power Save - Low Power Mode
- Power Save - Standby
- Power Cycle
- Power Save - Warning
- Paused
- Not Ready
- Not Configured
- Not Present (Sun Fire T2000 のみ)
- Quiesced
- Unknown
- Other
- --

「冗長性ステータス」プロパティの値

また、論理デバイスでは、「冗長性ステータス」プロパティも使用します。冗長性グループに属するデバイスの場合、このプロパティはこのコンポーネントの現在の役割を示します。たとえば、サービスプロセッサは別のサービスプロセッサのアクティブ/スタンバイペアとして動作する場合があります。同様に、ネットワークインタフェースは冗長なネットワークペアの一次メンバーまたは二次メンバーになる場合があります。「冗長性ステータス」の有効な値は次のとおりです。

- Not Applicable
- Unknown
- Active
- Standby
- Primary
- Secondary
- Other

プロセッサ

表 3-9 は、プロセッサテーブルのプロパティを示しています。

表 3-9 プロセッサテーブルのプロパティ

プロパティ	説明
名前	一意の名前
場所	デバイスの場所のパス
説明	デバイスの簡単な説明
動作状態	デバイスの現在の状態。値については、表 3-2 を参照してください。
追加情報	現在の動作状態の補足情報
可用性	デバイスの可用性。値については、31 ページの「「可用性」プロパティの値」を参照してください。
冗長性ステータス	冗長性グループに属するデバイスの状態。値については、31 ページの「「冗長性ステータス」プロパティの値」を参照してください。
デバイス ID	さまざまな Solaris コマンドで使用される数値の ID
クロック周波数	プロセッサクロックの速度
ファミリ	プロセッサファミリ (たとえば、sparcv9)
データキャッシュサイズ	プライマリデータキャッシュのサイズ
命令キャッシュサイズ	プライマリ命令キャッシュのサイズ
レベル 2 キャッシュサイズ	レベル 2 キャッシュのサイズ

メディアデバイス

表 3-10 は、すべてのメディアデバイス (ディスク、CD-ROM、DVD-ROM、テープなど) を示しています。

表 3-10 メディアデバイステーブルのプロパティ

プロパティ	説明
名前	一意の名前
場所	デバイスの場所のパス
説明	デバイスの簡単な説明
動作状態	デバイスの現在の状態。値については、表 3-2 を参照してください。
追加情報	現在の動作状態の補足情報
可用性	デバイスの可用性。値については、31 ページの「「可用性」プロパティの値」を参照してください。
冗長性ステータス	冗長性グループに属するデバイスの状態。値については、31 ページの「「冗長性ステータス」プロパティの値」を参照してください。
物理パス	/dev/rdisk または /dev/rmt の下位のメディアアクセスデバイスのパス
タイプ	ディスク、CD-ROM、DVD-ROM、テープ
ハードエラーカウン ト	iostat -e を使用して取得できる「ハード」デバイスエラーの数
ソフトエラーカウン ト	iostat -e を使用して取得可能
トランスポートエ ラーカウント	iostat -e を使用して取得可能

ネットワークインタフェース

表 3-11 は、ネットワークインタフェーステーブルのプロパティを示しています。

表 3-11 ネットワークインタフェーステーブルのプロパティ

プロパティ	説明
名前	一意の名前
場所	デバイスの場所のパス
説明	デバイスの簡単な説明
動作状態	デバイスの現在の状態。値については、表 3-2 を参照してください。

表 3-11 ネットワークインタフェーステーブルのプロパティ (続き)

プロパティ	説明
追加情報	現在の動作状態の補足情報
可用性	デバイスの可用性。値については、31 ページの「「可用性」プロパティの値」を参照してください。
冗長性ステータス	冗長性グループに属するデバイスの状態。値については、31 ページの「「冗長性ステータス」プロパティの値」を参照してください。
デバイス ID	/devices の下位のネットワークデバイスのパス
速度	bps 単位の速度
固定アドレス	MAC アドレス
ネットワークアドレス	IP アドレス
シンボル名	この IP アドレスに関連付けられたシンボリックネットワークまたはホスト名
入力エラーカウント	kstat を使用して取得できる入力エラーカウント
出力エラーカウント	kstat を使用して取得できる出力エラーカウント

インジケータ

表 3-12 は、インジケータテーブルのプロパティを示しています。

表 3-12 インジケータテーブルのプロパティ

プロパティ	説明
名前	一意の名前
場所	デバイスの場所のパス
説明	コンポーネントの簡単な説明
動作状態	デバイスの現在の状態。値については、表 3-2 を参照してください。
追加情報	現在の動作状態の補足情報
インジケータ状態	STEADY、OFF、ALTERNATING、または UNKNOWN
予期されている状態	STEADY、OFF、または ALTERNATING
色	インジケータの色

その他のデバイス

表 3-13 は、前述の一覧以外のすべての論理コンポーネントに使用されます。

表 3-13 その他のデバイステーブルのプロパティ

プロパティ	説明
名前	一意の名前
場所	デバイスの場所のパス
説明	コンポーネントの簡単な説明
動作状態	デバイスの現在の状態。値については、表 3-2 を参照してください。
追加情報	現在の動作状態の補足情報
可用性	デバイスの可用性。値については、31 ページの「「可用性」プロパティの値」を参照してください。
冗長性ステータス	冗長性グループに属するデバイスの状態。値については、31 ページの「「冗長性ステータス」プロパティの値」を参照してください。
デバイス ID	/devices の下位のデバイスのパス

環境センサのプロパティ

環境センサは、ファン速度 (タコメータ)、温度、電流および電圧用にモデル化されています。次の 2 種類のセンサがサポートされています。

- 数値
- 非数値

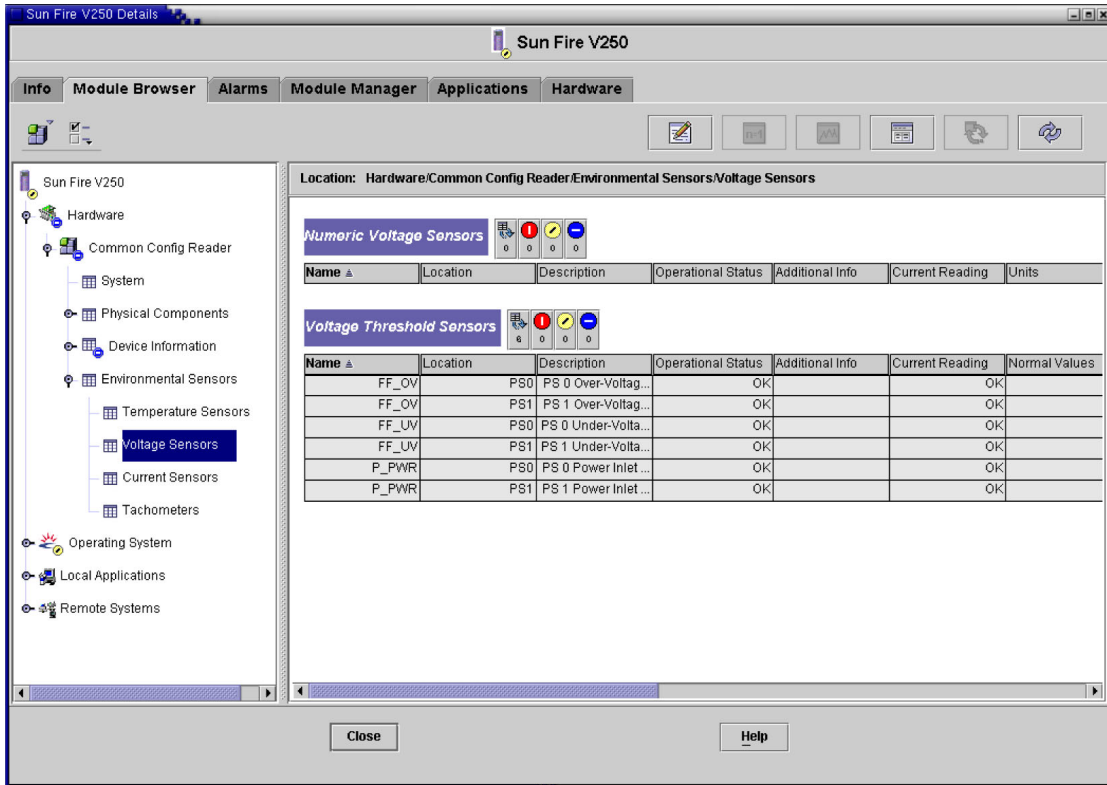


図 3-3 数値電圧センサテーブルと電圧しきい値センサテーブル (Sun Fire V250 の場合)

数値センサ

表 3-14 は、温度、電圧、電流、ファン速度 (タコメータ) の数値センサのプロパティを示しています。

表 3-14 数値センサテーブルのプロパティ

プロパティ	説明
名前	一意の名前
場所	デバイスの場所のパス
説明	コンポーネントの簡単な説明
動作状態	コンポーネントの現在の状態。値については、表 3-2 を参照してください。

表 3-14 数値センサテーブルのプロパティ（続き）

プロパティ	説明
追加情報	動作状態の補足情報
現在の値	センサの現在の値
単位	値の単位
注意しきい値下限	最初の警告しきい値の下限
注意しきい値上限	最初の警告しきい値の上限
重大しきい値下限	2 番目の警告しきい値の下限
重大しきい値上限	2 番目の警告しきい値の上限
致命的しきい値下限	最後の警告しきい値の下限
致命的しきい値上限	最後の警告しきい値の上限

非数値センサ

表 3-15 は、温度、電圧、電流の非数値センサのプロパティを示しています。

表 3-15 非数値センサテーブルのプロパティ

プロパティ	説明
名前	一意の名前
場所	デバイスの場所のパス
説明	コンポーネントの簡単な説明
動作状態	コンポーネントの現在の状態。値については、表 3-2 を参照してください。
追加情報	動作状態の補足情報
現在の値	センサの現在の値
通常の状態	このセンサが「正常」とみなされる値のリスト

第4章

アラーム

この章では、サポート対象のプラットフォームコンポーネント固有のアラーム規則について説明します。

この章は次の節で構成されています。

- 39 ページの「アラーム規則」
- 40 ページの「動作状態の規則」
- 42 ページの「可用性の規則」
- 43 ページの「非数値センサの規則」
- 44 ページの「数値センサのしきい値の規則」
- 46 ページの「占有状態の規則」
- 47 ページの「率またはカウントの規則」
- 49 ページの「モジュールのステータスの規則」
- 50 ページの「インジケータ状態の規則」

それぞれの節では、エラークラス、デフォルトのアラームレベル、およびアラームが生成された場合の推奨する操作について説明します。

アラーム規則

ハードウェア共通の構成リーダーには、さまざまなコンポーネントの状態を判断するためにシステムが使用するいくつかのアラーム規則が含まれています。アラーム規則の各インスタンスは、構成リーダーにあるテーブルの特定のプロパティに適用されます。同じ規則が複数のプロパティやテーブルに適用される場合もあります。

アラーム規則は、次の3つの主なソースからの入力を受け入れます。

- 構成リーダー内のオブジェクトのプロパティ
- ユーザー指定値
- 規則自体が保存したデータ

これら 3 つのソースはすべて、オブジェクトやプロパティごとに個別に変更できます。ユーザーはユーザー指定値を変更できます。一方、規則の作成者は、どのオブジェクトのプロパティや保存データを使用するかを指定します。

Sun Management Center コンソールを通じて、規則の状態と状態の変化に処理を割り当てることができます。詳細については、『Sun Management Center ユーザーガイド』を参照してください。ファイル `ELP-base_ruleinit-d.x` を直接編集することで、この章で説明している値を変更することもできます。

動作状態の規則

この規則は、「動作状態」プロパティを含む任意のノードに適用されます。動作状態が OK、Starting、Stopping、または二重ダッシュ (--) 以外の場合、アラームが生成されます。一般ユーザーに追加情報を提供するため、エラー文字列には「追加情報」プロパティの値が組み込まれています。

表 4-1 動作状態の規則

適用可能なテーブル	「動作状態」プロパティを含む任意のテーブル
読み取るプロパティ	「動作状態」、「追加情報」
アラームの生成	動作状態が、OK、Starting、Stopping、または -- でない
編集可能なパラメータ	「動作状態」の値に関連付けられたエラークラスの「アラーム重要度」。

エラークラスとデフォルトのアラームレベル

この規則は、「動作状態」プロパティの特定の値を特定のエラークラスと対応付けます。これらのエラークラスにより、対応する値で生成されるアラームのレベルが決まります。表 4-2 に、動作状態の値と、それに対応するエラークラスとデフォルトのアラームレベルを示します。

表 4-2 動作状態の値、エラークラス、およびデフォルトのアラームレベル

動作状態の値	エラークラス	デフォルトのアラームレベル
OK	なし	なし
Starting	なし	なし
Stopping	なし	なし
--	なし	なし
Error	重大	重大
Non-Recoverable	重大	重大
Degraded	縮退	警告
Predicted Failure	縮退	警告
Stressed	縮退	警告
service	保守	なし
Stopped	保守	なし
その他すべて	不明	注意

各エラークラスに関連付けられたアラームレベルを編集できます。表 4-3 に、「動作状態」規則のエラークラスとそのデフォルトアラームレベルを示します。

表 4-3 動作状態の規則のエラークラスのデフォルトアラームレベル

エラークラス	デフォルトのアラームレベル
重大	3 重大
縮退	2 警告
不明	1 注意
保守	0 なし

処理

警告または重大なアラームが生成された場合は、ご購入先に連絡してください。

注意アラームは情報提供のためのもので、エラーではありません。動作状態が Unknown の理由については、必要に応じてご購入先に連絡してください。

可用性の規則

この規則は、「可用性」プロパティを持つ任意のテーブルに適用できます。

表 4-4 可用性の規則

適用可能なテーブル	「可用性」プロパティを含む任意のテーブル
読み取るプロパティ	可用性
アラームの生成	可用性が、OK、Running、Not Applicable、または --でない
編集可能なパラメータ	「可用性」の値に関連付けられたエラークラスの「アラーム重要度」。

エラークラスとデフォルトのアラームレベル

この規則は、「可用性」プロパティの特定の値を特定のエラークラスと対応付けます。これらのエラークラスにより、対応する値で生成されるアラームのレベルが決まります。表 4-5 に、可用性の値と、それに対応するエラークラスとデフォルトのアラームレベルを示します。

表 4-5 可用性の値、エラークラス、およびデフォルトのアラームレベル

可用性の値	エラークラス	デフォルトのアラームレベル
OK	なし	なし
Running	なし	なし
Not Applicable	なし	なし
-- (二重ダッシュ)	なし	なし
Degraded	縮退	警告
Warning	縮退	警告
PowerSave - Warning	縮退	警告
Install Error	縮退	警告
Not Configured	インストールなし	なし

表 4-5 可用性の値、エラークラス、およびデフォルトのアラームレベル (続き)

可用性の値	エラークラス	デフォルトのアラームレベル
Not Installed	インストールなし	なし
Not Ready	インストールなし	なし
その他すべて	デフォルト	なし

各エラークラスに関連付けられたアラームレベルを編集できます。表 4-6 に、「可用性」規則のエラークラスとそのデフォルトアラームレベルを示します。

表 4-6 可用性規則のエラークラスのデフォルトアラームレベル

エラークラス	デフォルトのアラームレベル
縮退	2 警告
インストールなし	なし
デフォルト	なし

処理

問題の解決方法については、ご購入先に連絡してください。

非数値センサの規則

この規則は、数値センサ以外の任意のセンサに適用されます。この規則では、エラーメッセージの「現在の値」を使用します。

表 4-7 非数値センサの規則

適用可能なテーブル	数値センサ以外の温度センサ、電圧センサおよび電流センサ
-----------	-----------------------------

表 4-7 非数値センサの規則 (続き)

読み取るプロパティ	現在の値、通常の値
アラームの生成	「現在の値」が通常の値以外の場合
編集可能なパラメータ	アラーム重要度

エラークラスとデフォルトのアラームレベル

この規則では、「現在の値」の値が「通常の値」プロパティのいずれかと一致しない場合にアラームを生成します。このエラーに関連付けられたデフォルトのアラームレベルは「重大」です。表 4-8 にプロパティ値、およびそれに関連付けられたエラークラスとデフォルトのアラームレベルを示します。

表 4-8 現在の値のプロパティ値、エラークラス、およびデフォルトのアラームレベル

「現在の値」の値	エラークラス	デフォルトのアラームレベル
「通常の値」プロパティのどれとも一致しない	アラーム	重大

このアラームエラークラスと関連付けられたアラームレベルを変更できます。

処理

問題の解決方法については、ご購入先に連絡してください。

数値センサのしきい値の規則

この規則は、任意の数値センサに適用されます。センサに表示されるさまざまなしきい値を読み取り、現在の値が指定範囲外の場合にアラームを生成します。

表 4-9 数値センサのしきい値の規則

適用可能なテーブル	数値温度センサ、電圧センサおよび電流センサ、タコメータ
読み取るプロパティ	現在の値、しきい値
アラームの生成	「現在の値」がしきい値の範囲外の場合
編集可能なパラメータ	「現在の値」が「しきい値」よりも大きいか小さい場合に、その「しきい値」と関連付けられたエラークラスの「アラーム重要度」

エラークラスとデフォルトのアラームレベル

この規則では、「現在の値」の値がいずれかの「下限しきい値」よりも小さいか、いずれかの「上限しきい値」よりも大きい場合にアラームを生成します。生成されるアラームのレベルは、そのしきい値に関連付けられたエラークラスで決まります。表 4-10 にしきい値プロパティ値、およびそれに関連付けられたエラークラスとデフォルトのアラームレベルを示します。

注 - 「しきい値」が -- (二重ダッシュ) に設定されている場合、この規則では「現在の値」の値と「しきい値」との比較が行われません。

表 4-10 現在の値のプロパティ値、エラークラス、およびデフォルトのアラームレベル

「現在の値」の値	エラークラス	デフォルトのアラームレベル
< 注意しきい値下限	注意	注意
> 注意しきい値上限	注意	注意
< 重大しきい値下限	重大	警告
> 重大しきい値上限	重大	警告
< 致命的しきい値下限	致命的	重大
> 致命的しきい値上限	致命的	重大

各エラークラスに関連付けられたアラームレベルを編集できます。表 4-11 に、「可用性」規則のエラークラスとそのデフォルトアラームレベルを示します。

表 4-11 数値センサのしきい値規則のエラークラスのデフォルトアラームレベル

エラークラス	デフォルトのアラームレベル
注意	注意
重大	警告
致命的	重大

処理

問題の解決方法については、ご購入先に連絡してください。

占有状態の規則

この規則は、ある場所の占有状態が変わるとアラームを生成します。

表 4-12 率またはカウントの規則

適用可能なテーブル	場所
読み取るプロパティ	「名前」、「占有状態」
アラームの生成	占有状態が変化した場合
編集可能なパラメータ	アラーム重要度

注 – このアラームは、Sun Management Center コンソールで確認応答するとクリアできます。その他すべてのアラームは、状態が変化するとクリアされます。

エラークラスとデフォルトのアラームレベル

この規則では、「占有状態」の値が前回の確認時以降に変化しているとアラームが生成されます。このエラーに関連付けられたデフォルトのアラームレベルは「注意」です。表 4-13 に占有状態のプロパティ値、およびそれに関連付けられたエラークラスとデフォルトのアラームレベルを示します。

表 4-13 占有状態のプロパティ値、エラークラス、およびデフォルトのアラームレベル

占有状態の値	エラークラス	デフォルトのアラームレベル
前回、このプロパティの値としてレポートされた値と一致しない。	アラーム	注意

このアラームエラークラスと関連付けられたアラームレベルを変更できます。

処理

注意アラームは情報提供のためのもので、エラーではありません。「占有状態」プロパティの値については、必要に応じてご購入先に連絡してください。

率またはカウントの規則

この規則では、任意の整数プロパティに対して率またはカウントを指定できます。率またはカウントが指定された値を超えると、アラームが生成されます。エラー数をカウントするすべてのプロパティに対してこの規則を割り当てると、必要に応じたアラームを生成できます。

表 4-14 率またはカウントの規則

適用可能なテーブル	<ul style="list-style-type: none"> メモリモジュールテーブル – ECC エラーカウント メディアデバイステーブル – ハードエラーカウント、ソフトエラーカウント、トランスポートエラーカウント ネットワークインタフェーステーブル – 出力エラーカウント
読み取るプロパティ	「エラーカウント」および同様の整数プロパティ
アラームの生成	「率」または「カウント」がユーザー指定値を超える場合
編集可能なパラメータ	「率」、「カウント」および「アラーム重要度」

エラーカウント、エラー率、およびデフォルトのアラームレベル

この規則では、いずれかのプロパティで次のどちらかまたは両方の状態の場合にアラームを生成します。

- 合計エラーカウントプロパティの値が特定の値を超えた場合。
- 毎分のエラー率が特定の値を超えた場合。

注 – 指定したエラーカウントまたはエラー率が 0 未満に設定されると、この規則でエラーカウントまたはエラー率が確認されなくなります。アラームレベルが 0 以下の場合は、アラームが生成されません。

デフォルトでは値が -1 に設定されるため、設定を変更するまでこの規則でエラーカウントまたはエラー率が確認されません。エラーカウント、エラー率、およびアラームレベルの各パラメータは変更できます。表 4-15 に、これらのパラメータとそのデフォルト値の一覧を示します。

表 4-15 率またはカウントの規則パラメータ

パラメータ	単位	デフォルト	意味
エラーカウント	整数	-1	合計エラー数
エラー率	浮動小数点数	-1	毎分のエラー数
アラームレベル	符号なし整数	2 警告	0 = なし 1 = 注意 2 = 警告 3 = 重大

処理

問題の解決方法については、ご購入先に連絡してください。

モジュールのステータスの規則

この規則は、システムオブジェクトの「モジュールのステータス」プロパティにのみ適用します。主に、モジュールのデータ収集の問題を報告するために使用されます。

表 4-16 モジュールのステータスの規則

適用可能なテーブル	システム
読み取るプロパティ	「モジュールのステータス」、「モジュールのステータスの重要度」
アラームの生成	「状態」が OK 以外の場合
編集可能なパラメータ	「モジュールのステータス」の値に関連付けられたエラークラスの「アラーム重要度」。

エラークラスとデフォルトのアラームレベル

この規則では、データの収集中に問題が発生した場合に、特定のレベルのアラームを生成します。この規則は、「モジュールのステータス」プロパティの特定の値を特定のエラークラスと対応付けます。これらのエラークラスにより、対応する値で生成されるアラームのレベルが決まります。表 4-17 に、「モジュールのステータス」の値と、それに対応するエラークラスとデフォルトのアラームレベルを示します。

表 4-17 モジュールのステータスの値、エラークラス、およびデフォルトのアラームレベル

モジュールのステータスの値	エラークラス	デフォルトのアラームレベル
DAQ Failure	重大	重大
Memory Allocation	警告	警告
Internal Error	情報	注意
OK	なし	なし

各エラークラスに関連付けられたアラームレベルを編集できます。表 4-18 に、「モジュールのステータス」規則のエラークラスとそのデフォルトアラームレベルを示します。

表 4-18 モジュールのステータス規則のエラークラスのデフォルトアラームレベル

エラークラス	デフォルトのアラームレベル
重大	3 重大
警告	2 警告
情報	1 注意
なし	0 なし

処理

警告または重大なアラームが生成された場合は、ご購入先に連絡してください。

「注意」アラームは必ずしもエラーではありません。コンソールデータを確認し、データが失われている場合や、予期しないデータがある場合は、ご購入先に連絡してください。

インジケータ状態の規則

この規則は、インジケータオブジェクトの「インジケータ状態」プロパティにのみ適用されます。

表 4-19 インジケータ状態の規則

適用可能なテーブル	インジケータ
読み取るプロパティ	「インジケータ状態」、「予期されている状態」
アラームの生成	「状態」が「予期されている状態」以外の場合
編集可能なパラメータ	アラーム重要度

エラークラスとデフォルトのアラームレベル

この規則では、「インジケータ状態」の値が「予期されている状態」と一致しない場合にアラームを生成します。このエラーに関連付けられたデフォルトのアラームレベルは「注意」です。表 4-20 にプロパティ値、およびそれに関連付けられたエラークラスとデフォルトのアラームレベルを示します。

注 - 「予期されている状態」の値が -- (二重ダッシュ) の場合、この規則では「インジケータ状態」の値との比較が行われません。

表 4-20 インジケータ状態のプロパティ値、エラークラス、およびデフォルトのアラームレベル

インジケータ状態の値	エラークラス	デフォルトのアラームレベル
「予期されている状態」の値と一致しない	アラーム	1 注意

このアラームエラークラスと関連付けられたアラームレベルを変更できます。

処理

問題の解決方法については、ご購入先に連絡してください。

付録 A

PCI カード

拡張カードテーブルには、システムに取り付けられている PCI カードに対応する行も含まれています。ハードウェアプラットフォームモジュールの「説明」フィールドにはカードの説明、「モデル名」フィールドには Sun Store オプションコンポーネントコード、「パーツ番号」フィールドには Sun Microsystems パーツ番号が表示されます。

カードにこれらの情報を表示するアドオンソフトウェアが設定されていない場合は、「説明」、「モデル名」、「パーツ番号」の各フィールドに -- と表示されます。

表 A-1 は、カードの説明、Sun Store オプションコンポーネントコード、および Sun Microsystems パーツ番号が表示されるカードの一覧を示しています。システムでこれらの PCI カードのどれを使用できるかについては、プラットフォーム用のマニュアルを参照してください。

表 A-1 サポートされる PCI カード

PCI カード	Sun パーツ番号	オプションコンポーネント番号
Dual-Channel Differential UltraSCSI PCI Host Adapter	375-0006	X6541A
Dual-Channel Ultra3 Differential SCSI PCI Host Adapter	375-3057	X6758A
Sun High-Speed Serial Interface PCI Adapter 2.0	370-2728	X1155A
Sun Serial Asynchronous Interface PCI Adapter 3.0	375-0100	X2156A
Sun FastEthernet 10/100BaseT PCI Adapter 2.0	501-5019	X1033A
Sun Quad FastEthernet PCI Card (QFE)	501-5406	X1034A
Sun GigaSwift Ethernet UTP PCI Adapter	501-5902	X1150A
Sun GigaSwift Ethernet MMF PCI Adapter	501-5524	X1151A
SunATM 155/MFiber PCI Adapter 4.0	501-3028	X1157A
SunATM 155/UTP PCI Adapter 4.0	501-3027	X1158A

表 A-1 サポートされる PCI カード (続き)

PCI カード	Sun パーツ番号	オプション コンポーネント番号
SunATM 622/MFiber PCI Adapter 4.0	501-3029	X1159A
Single Fibre Channel PCI Network Adapter	375-3019	X6799A
Dual Fibre Channel PCI Network Adapter	375-3030	X6727A
SunSwift 10/100BaseT Fast/Wide UltraSCSI PCI Adapter	501-5656	X1032A
Dual Fast Ethernet + Dual SCSI PCI Adapter	501-5727	X2222A
Sun XVR-100 Graphics Accelerator	375-3126	X3769A
Sun XVR-600 Graphics Accelerator	375-3153	X3780A
Sun XVR-500 Graphics Accelerator	375-3069	X3685A
Sun XVR-1200 Graphics Accelerator	375-3101	X3689A
Sun PGX64 Graphics Accelerator PGX64	370-4362	X3768A
Dual Fibre Channel 2 Gb PCI Network Adapter	375-3108	X6768A
SunPCi II Pro Co-Processor Card	375-3051	X2132A
Sun PCi III Pro Co-Processor Card	605-4654	X2134A
Sun Crypto Accelerator 1000 Card	375-3089	X6762A
Sun Gigabit Ethernet PCI Adapter	501-4373	X1141A

付録 B

プラットフォーム固有の情報

表 B-1 は、監視対象システムおよび Sun Management Center サーバーにインストールする一般的なパッケージを示しています。

次の節では、この製品のソフトウェアパッケージに関するプラットフォーム固有の情報を示し、サポート対象のプラットフォームごとに関連するシステムマニュアルを示します。

- 56 ページの「Sun Fire V210、Sun Fire V240、および Netra 240 サーバー」
- 56 ページの「Netra 440 サーバー」
- 57 ページの「Sun Fire V250 サーバー」
- 57 ページの「Sun Fire V440 サーバー」
- 58 ページの「Sun Blade 1500 および Sun Blade 2500 ワークステーション」
- 58 ページの「Sun Fire T2000 システム」

関連するシステムマニュアルについては、xiii ページの「関連マニュアル」を参照してください。最小ディスク容量要件など、一般的な Sun Management Center の必須条件についての詳細は、『Sun Management Center インストールと構成ガイド』を参照してください。

表 B-1 共通ハードウェアプラットフォームモジュールパッケージ

パッケージ	説明	階層
SUNWescci	Sun Management Center 共通構成リーダーモジュール初期化	サーバーおよびエージェント
SUNWesccs	Sun Management Center 共通構成リーダーモジュールサーバーコアコンポーネント	サーバー

表 B-1 共通ハードウェアプラットフォームモジュールパッケージ

パッケージ	説明	階層
SUNWescca	Sun Management Center 共通構成リーダーモジュールエージェントコアコンポーネント	エージェント
SUNWescda	Sun Management Center 共通構成リーダーモジュールの DAQ コンポーネント	エージェント
SUNWescdl	Sun Management Center 共通構成リーダー DAQ ライブラリ	エージェント

Sun Fire V210、Sun Fire V240、および Netra 240 サーバー

表 B-2 は、Sun Fire V210、Sun Fire V240、および Netra 240 サーバーのサーバーコンポーネントとエージェントコンポーネントを示しています。

表 B-2 Sun Fire V210、V240、および Netra 240 のプラットフォーム固有のパッケージ

パッケージ	説明	階層
SUNWescps	Sun Management Center 共通構成リーダーモジュール Sun Fire V210/V240、および Netra 240 サーバーコンポーネント	サーバー
SUNWescpa	Sun Management Center 共通構成リーダーモジュール Sun Fire V210/V240、および Netra 240 エージェントコンポーネント	エージェント
SUNWescpl	共通構成リーダーモジュール Sun Fire V210/V240、および Netra 240 プラットフォームをサポート	エージェント

Netra 440 サーバー

表 B-3 は、Netra 440 サーバーのサーバーコンポーネントとエージェントコンポーネントを示しています。

表 B-3 Netra 440 のプラットフォーム固有のパッケージ

パッケージ	説明	階層
SUNWescns	Sun Management Center 共通構成リーダーモジュールサーバー Netra 440 プラットフォームコンポーネント	サーバー
SUNWescna	Sun Management Center 共通構成リーダーモジュール Netra 440 エージェントコンポーネント	エージェント
SUNWescnl	共通構成リーダー Netra 440 プラットフォームサポート	エージェント

Sun Fire V250 サーバー

表 B-4 は、Sun Fire V250 サーバーのサーバーコンポーネントとエージェントコンポーネントを示しています。

表 B-4 Sun Fire V250 サーバーのプラットフォーム固有のパッケージ

パッケージ	説明	階層
SUNWescfs	Sun Management Center 共通構成リーダーモジュール Sun Fire V250 サーバーコンポーネント	サーバー
SUNWescfa	Sun Management Center 共通構成リーダーモジュール Sun Fire V250 エージェントコンポーネント	エージェント
SUNWescfl	共通構成リーダーモジュール Sun Fire V250 プラットフォームをサポート	エージェント

Sun Fire V440 サーバー

表 B-5 は、Sun Fire V440 サーバーのサーバーコンポーネントとエージェントコンポーネントを示しています。

表 B-5 Sun Fire V440 サーバーのプラットフォーム固有のパッケージ

パッケージ	説明	階層
SUNWeschs	Sun Management Center 共通構成リーダーモジュール Sun Fire V440 サーバーコンポーネント	サーバー
SUNWescha	Sun Management Center 共通構成リーダーモジュール Sun Fire V440 エージェントコンポーネント	エージェント
SUNWeschl	共通構成リーダーモジュール Sun Fire V440 プラットフォームをサポート	エージェント

Sun Blade 1500 および Sun Blade 2500 ワークステーション

表 B-6 は、Sun Blade 1500 および Sun Blade 2500 ワークステーションのサーバーコンポーネントとエージェントコンポーネントを示しています。

表 B-6 Sun Blade 1500 および 2500 のプラットフォーム固有のパッケージ

パッケージ	説明	階層
SUNWescws	Sun Management Center 共通構成リーダーモジュール Sun Blade 1500/2500 サーバープラットフォームコンポーネント	サーバー
SUNWescwa	Sun Management Center 共通構成リーダーモジュール Sun Blade 1500/2500 エージェントプラットフォームコンポーネント	エージェント

Sun Fire T2000 システム

表 B-7 は、Sun Fire T2000 システムのサーバーコンポーネントとエージェントコンポーネントを示しています。

表 B-7 Sun Fire T2000 システムのプラットフォーム固有のパッケージ

パッケージ	説明	階層
SUNWesona	Sun Management Center 共通構成リーダーモジュール Sun Fire T2000 エージェントコンポーネント	エージェント
SUNWeson1	Sun Management Center 共通構成リーダー Sun Fire T2000 プラットフォームサポート	エージェント
SUNWesons	Sun Management Center 共通構成リーダーモジュール Sun Fire T2000 プラットフォームコンポーネント	サーバー

表 B-8 は、PCPdaq に固有のサーバーコンポーネントとエージェントコンポーネントを示しています。

表 B-8 PCPdaq のパッケージ

パッケージ	説明	階層
SUNWespdas	Sun Management Center 共通構成リーダーモジュールエージェント PCPDAQ コンポーネント	エージェント
SUNWespd1	Sun Management Center 共通構成リーダー PCPDAQ ライブラリ	エージェント

索引

E

es-guiinst, 13
es-inst, 13

G

GUI インストール機能, 13
GUI 設定, 14

S

Sun Management Center
GUI, 2
Web サイト, 11
コアコンポーネント, 11
Sun Management Center 3.0 コアコンポーネント
, 11

あ

アラーム規則, 9, 39

い

インジケータテーブル, 34
インストール処理
GUI インストール機能, 13
GUI 設定, 14

コアパッケージ, 14

え

エージェント更新, 19

か

拡張カードテーブル, 27
「可用性」プロパティの値, 31
環境センサ, 6

き

規則
インジケータ状態, 50
カウント, 47
可用性, 42
数値センサのしきい値, 44
占有状態, 46
動作状態, 40
非数値センサ, 43
モジュールのステータス, 49
率, 47
共通プロパティ, 23

く

グラフィカルユーザインタフェース, 2

け

現場交換可能ユニット, 26

さ

サポート対象のプラットフォーム, 2

し

システムオブジェクト, 6

システム情報テーブル, 22

詳細ビューア, 3

「冗長性ステータス」プロパティの値, 31

す

数値センサテーブル, 36

そ

その他のデバイステーブル, 35

その他の物理コンポーネントテーブル, 29

ソフトウェア

共通アドオンパッケージ, 55

削除, 15

プラットフォーム固有のパッケージ, 56, 57, 58,
59

要件, 12

ソフトウェアの削除, 15

て

テーブル, 4

インジケータ, 34

拡張カード, 27

システム情報, 22

数値センサ, 36

その他のデバイス, 35

その他の物理コンポーネント, 29

デバイス, 32

電源装置, 26

ネットワークインタフェース, 33

場所, 29

ファン, 25

メディアデバイス, 32

メモリモジュール, 28

デバイステーブル, 32

電源装置テーブル, 26

と

動作状態, 25

ね

ネットワークインタフェーステーブル, 33

ネットワーク管理用プロトコル, 1

は

ハードウェア, 22

場所テーブル, 29

パッケージ

コアパッケージの更新, 14

ふ

ファンテーブル, 25

物理コンポーネント, 5, 30

物理コンポーネントテーブル, 7

物理的な包含階層, 6

物理ビュー, 7

ブラウザ, 4

プロパティ, 39

インジケータ, 34

拡張カード, 27

環境センサ, 35
共通, 5, 23
システム情報, 22
数値センサ, 36
その他のデバイス, 35
その他の物理コンポーネント, 29
デバイス, 32
電源装置, 26
ネットワークインタフェース, 33
場所, 29
ファン, 25
物理コンポーネント, 23
メディアデバイス, 32
メモリモジュール, 28

め

メディアデバイステーブル, 32
メモリモジュールテーブル, 28

ろ

論理コンポーネントテーブル, 7
論理デバイス, 6, 30
 プロパティ, 30
論理ビュー, 6

